

2021年3月17日
東ソー株式会社

触媒学会 学会賞（技術部門）を受賞

東ソーは、「触媒の高性能化と寿命予測技術による塩化ビニルモノマー製造プロセスの効率化」で、一般社団法人 触媒学会より、「2019年度 触媒学会 学会賞（技術部門）」を受賞し、第127回触媒討論会（2021年3月16日～17日）において延期されていた表彰式が開催されました。

当社は1960年代に独自技術によってオキシクロリネーション法塩化ビニルモノマー（VCM）プラントを操業して以来、触媒の改良を進め、触媒性能の向上に努めてまいりました。今回の受賞は、エチレン、塩化水素、酸素から二塩化エチレン（EDC）を合成するオキシクロリネーション反応に用いる固定床の独自触媒を新たに開発し、実用化に至ったことが評価されました。銅系のシンプルな触媒組成にもかかわらず、円筒形状、さらに担体に特異な細孔構造をもたせることで、触媒性能（活性、選択性、耐久性）が飛躍的に向上しています。さらに、触媒劣化メカニズムの解析により触媒寿命を高精度に予測するシミュレーション技術も確立し、触媒使用期間の延長などのコスト低減に寄与しました。

当学会賞（技術部門）は、触媒に関連する工業技術（触媒分析や評価技術、触媒技術の異分野への応用なども含む）に関して著しい研究業績・開発業績を挙げたものに対して贈られる賞です。

当社では、今回の学会賞の受賞を励みとし、今後も革新的な研究開発を取り組んでいくとともに、エネルギー消費や環境負荷が少ない素材の提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【学会賞（技術部門）の表彰楯】



【VCM製造能力】

拠点	年産能力 (万t)
南陽事業所	85
四日市事業所	25
合計	110

以上